

麻醉科

麻醉科指導医3名（男性2名・女性1名）が常勤しており、全身麻醉管理や緩和ケアに従事しています。

麻醉科管理手術件数は、年間約1,300件！

一般的な全身麻醉に加え、産科麻醉や小児麻醉、心臓麻醉などにも24時間対応しています。

麻醉科研修のプログラムは、個人の希望に応じて作成し、気道確保や血管確保などの救急手技や周術期管理を学んでもらいます。

麻醉科認定医・専門医・指導医取得を目的とした後期研修も可能です！



**私たちと一緒に周術期管理を勉強しませんか！
見学也大歓迎です！！**

麻酔科 後期研修の紹介

1. 症例の幅広さとハイリスク患者の多さ

年間麻酔管理症例数が1,300件と豊富！

80歳以上の症例が16%、ASA PS3以上のハイリスク患者が18%以上なのが特徴。

移植医療、先天性疾患患者の麻酔を除く、ほとんどの外科手術の麻酔を経験し、様々な病態や重症度の高い患者さんの麻酔管理が行えるようになります。日々の麻酔管理を経験豊かな指導医のもとで研修しましょう！

2. 「この指導なら必ず成長できる」

そう思える研修環境で、3人の麻酔科指導医の愛のこもった厳しい指導で多くの経験を積むことができます。

ハイリスク症例が多いから「怖い思い」を多く経験するでしょう。しかし、その思いが真の麻酔科医を育てます。

3. オンとオフ

術前・術中・術後と患者管理を行うので、業務は忙しいですが、休日は緊急呼出もなく、完全にフリーなのです。